

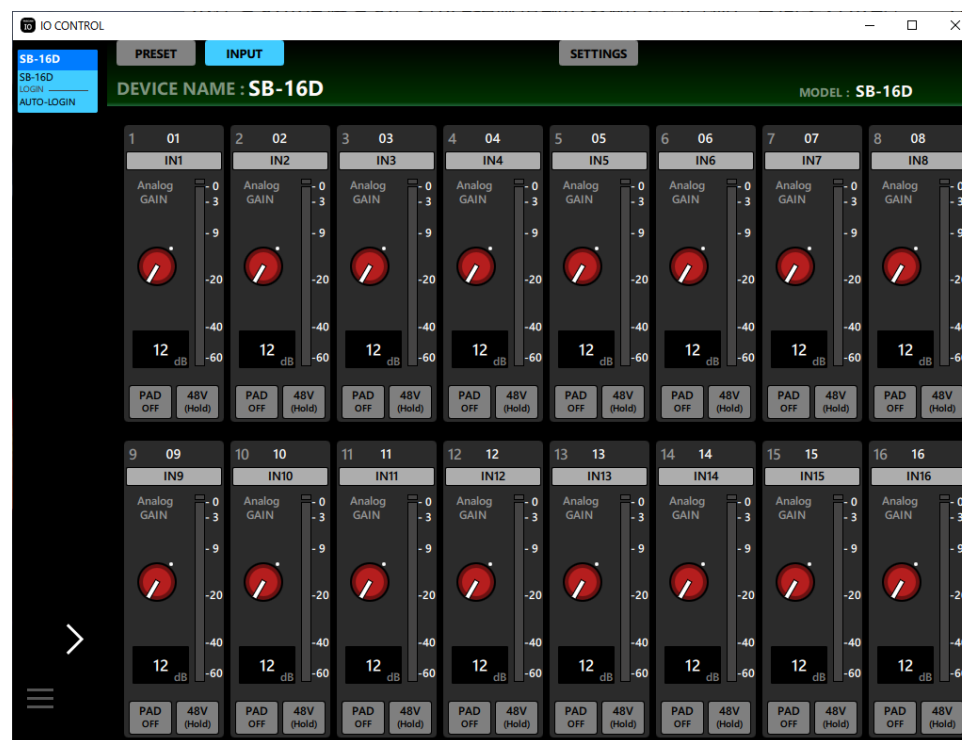
TASCAM

D01407601A

TASCAM IO CONTROL

取扱説明書

V1.0.0



0323.MA-3657A

目次

概要	2
本書の表記	2
商標に関して	2
動作環境	3
iPadOSデバイス	3
Windows	3
Mac	3
SB-16D本体とソフトウェアのバージョン	3
ネットワーク構成	3
専用ソフトウェアをインストールする	4
iPadOSデバイス	4
Windows	4
Mac	5
Gatekeeperについて	6
TASCAM IO CONTROLを起動する	7
iPadで起動する	7
Windows / Macで起動する	7
TASCAM IO CONTROLの動作モード	7
TASCAM IO CONTROLとSB-16D本体をネットワーク接続する	8
バーチャルデバイスを削除 / 再追加する	8
画面の構成	9
タブエリアについて	11
PRESET画面	11
プリセットデータをEXPORTする	12
プリセットデータをIMPORTする	13
プリセットデータをSTOREする	14
プリセットデータをRECALLする	14
制御権の取得方法 (PRESET画面)	15
INPUT画面	16
制御権の取得方法 (INPUT画面)	18
SETTINGS画面	19
制御権の取得方法 (SETTINGS画面)	21
Network Settings画面	22
GPIO Settings画面	24
Factory Reset画面	26

概要

「TASCAM IO CONTROL」は、スタンドアロンでSB-16Dを操作する専用コントロールソフトウェアです。

SB-16Dを使ったシステム構築から、日々の管理・運用まで幅広く対応します。

本ソフトウェアをご使用いただく場合は、「ソフトウェア使用許諾契約書」をお読みいただき、同意いただいた上でご使用ください。

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- タブレット端末、パソコンを「各デバイス」と表記します。
- DemoモードやOffline Editorモードで用いる仮想のデバイスのことを「バーチャルデバイス」と表記します。
- 各デバイス上に表示される文字を「OK」のように表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本ソフトウェアをこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などを記載します。

注意

指示を守らないと、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

⚠ 注意

指示を守らないと、人がけがをする可能性がある場合に記載します。

商標に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows および Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Mac、macOS、iPadOS および App Store は、米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。
- App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。
- Audinate®, the Audinate logo and Dante are trademarks of Audinate Pty Ltd.
www.audinate.com/patents
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

TASCAM IO CONTROL

動作環境

最新の対応OS・モデル状況については、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) にてご確認ください。

注意

各OSでの動作確認は、下記のシステム条件を満たす標準的な環境での結果になります。下記の条件を満たす環境であっても動作を保証するものではありません。

iPadOSデバイス

対応OS

iPadOS 16
iPadOS 15

対応デバイス

arm64以降を採用したiPadシリーズ

Windows

対応OS

Windows 11 (64bit)
Windows 10 (64bit)

対応パソコン

DirectX11のハードウェアサポートのあるWindows 対応パソコン

CPU

Intel Core iシリーズ以降推奨

メモリー

8GB以上 (16GB以上を推奨)

ディスクの空き容量

150MB以上の空きが必要

画面解像度/色数

1280 x 1024ドット (SXGA) 以上
True Color (32ビット) 推奨

Mac

対応OS

macOS Ventura (13)
macOS Monterey (12)
macOS Big Sur (11)

対応モデル

Intel Core i シリーズ / Apple silicon M シリーズを搭載した Mac

メモリー

8GB以上 (16GB以上を推奨)

ディスクの空き容量

150MB以上の空きが必要

画面解像度

1280 x 1024ドット (SXGA) 以上

SB-16D本体とソフトウェアのバージョン

対応機種

SB-16D

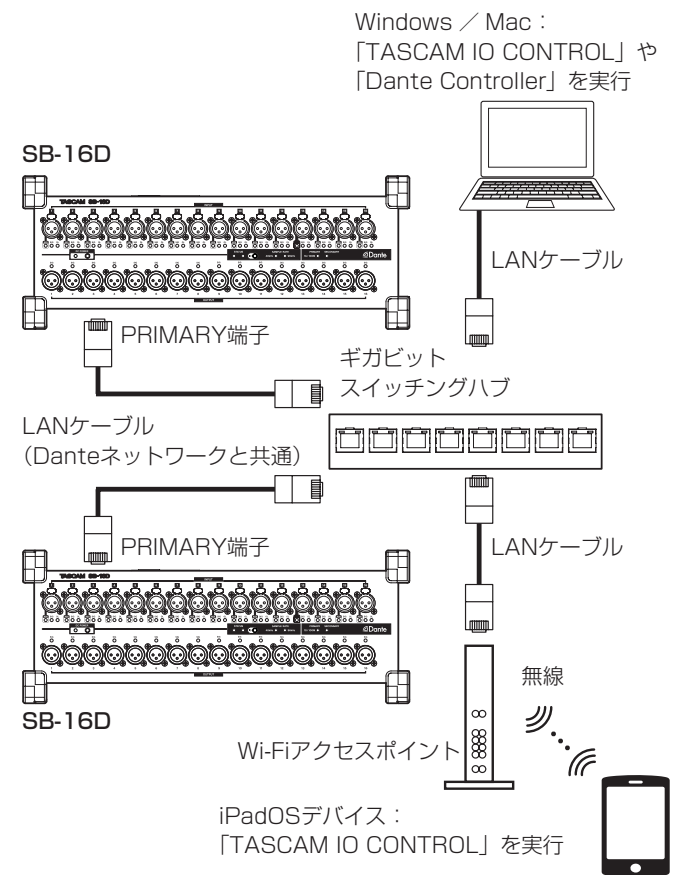
ソフトウェアバージョン

SB-16D本体：1.00*
TASCAM IO CONTROLソフトウェアのバージョン：1.0.0

* SB-16D本体のファームウェアは、常に最新版をお使いいただきますようお願い致します。最新のファームウェアに関しては、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) にてご確認ください。

ネットワーク構成

SB-16Dを2台使用した場合の接続例



注意

- 接続には、カテゴリ 6以上のLANケーブルをご使用ください。
- 同一ネットワーク内に複数のSonicviewおよび各デバイスが存在しても問題ありません。
- 1台のSB-16Dに同時にログインできるデバイス数の上限は、Sonicviewが9台、各デバイスが1台の合計10台までです。
- 複数の各デバイスから1台のSB-16Dに同時にログインすることはできません。複数の各デバイスが同一ネットワーク上に存在し、それぞれ別のSB-16Dにログインすることは可能です。

TASCAM IO CONTROL

専用ソフトウェアをインストールする

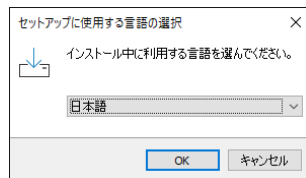
iPadOSデバイス

1. iPadをインターネットに接続してください。
2. App Storeから、専用ソフトウェア（TASCAM IO CONTROL）を検索し、ダウンロードおよびインストールを実施してください。
- インターネット接続における通信費用は、お客様のご負担となりますのでご了承ください。

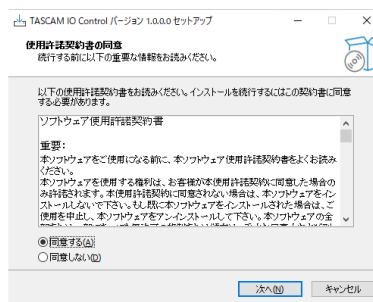
Windows

「TASCAM IO CONTROL」のインストール手順を説明します。

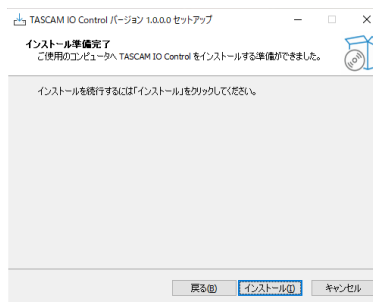
1. お使いのパソコンをインターネットに接続してください。
2. TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) からソフトウェア（TASCAM IO CONTROL）のインストーラーをダウンロードしてください。
 - インターネット接続における通信費用は、お客様のご負担となりますのでご了承ください。
3. ダウンロード後ファイルを解凍し、「TASCAM_IO_CONTROL_installer_x.x.x.exe（x.xx はバージョン番号）」をダブルクリックして、インストーラーを起動してください。インストーラーの言語選択画面が表示されますので、ご希望の言語を選択し、「OK」をクリックしてください。



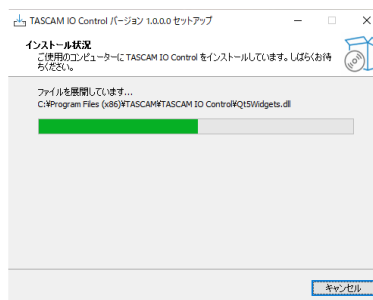
4. ソフトウェアのライセンス同意画面を表示します。ライセンス条項に同意して「同意する(A)」を選択し、「次へ(N)>」ボタンをクリックして次に進みます。



5. インストールの準備完了画面を表示します。「インストール(I)」ボタンをクリックします。



6. インストールの進行状況画面を表示します。インストールを途中で中止したい場合は、「キャンセル」ボタンをクリックします。



7. インストール完了画面を表示します。すぐに「TASCAM IO CONTROL」を起動する場合は、そのまま「完了(F)」ボタンをクリックしてください。あとで「TASCAM IO CONTROL」を起動する場合は、「TASCAM IO CONTROL を実行する」のチェックマーク (✓) を外してから、「完了(F)」ボタンをクリックしてください。



以上でソフトウェアのインストール作業は完了です。

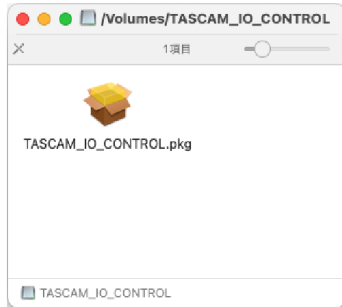
TASCAM IO CONTROL

Mac

メモ

Mac 用「TASCAM IO CONTROL」のインストール中に、「"TASCAM_IO_CONTROL.pkg" は、Mac App Storeからダウンロードされたものではないため開けません。」などの警告メッセージが表示されることがあります。これらの警告メッセージが表示されたときは、6ページ「Gatekeeperについて」の対処方法を行った上で、インストールを続けてください。

1. TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) から、ご使用のOSに適した最新の Mac 用「TASCAM IO CONTROL」をダウンロードし、ご使用のパソコンに保存してください。
2. 保存した Mac 用「TASCAM IO CONTROL」のディスクイメージファイル「TASCAM_IO_CONTROL_x.x.x.dmg」(x.x.x はソフトウェアのバージョン) をダブルクリックし、開いたフォルダー内の「TASCAM_IO_CONTROL.pkg」をダブルクリックします。



メモ

ご使用の環境により、ダウンロードしたzipファイルが解凍されていない場合があります。その場合は、zipファイルを解凍してからディスクイメージファイルをダブルクリックしてください。

3. インストーラーが起動しますので、「続ける」ボタンをクリックします。



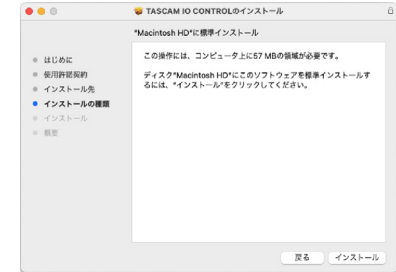
4. 次に希望の言語を選択し、「続ける」ボタンをクリックします。



5. 「使用許諾契約を読む」ボタンをクリックして、使用許諾契約の内容を確認します。内容に同意ができれば、「同意する」を選択します。次に「続ける」ボタンをクリックします。



6. 次に「インストール」ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。



7. 次の画面が表示されたら、インストール作業は完了です。「閉じる」ボタンをクリックします。



以上でソフトウェアのインストール作業は完了です。

TASCAM IO CONTROL

Gatekeeperについて

macOSをお使いの場合、セキュリティー機能のGatekeeper設定により、インストール中に警告メッセージが表示されることがあります。表示された警告メッセージにより、対処方法が異なります。詳しくは、以下の対処方法をご参照ください。

Gatekeeperの設定を「Mac App Storeからのアプリケーションのみを許可」にしている場合

「TASCAM_IO_CONTROL.pkg」は、Mac App Storeからダウンロードされたものでないため開けません。」というセキュリティーの警告画面が表示されることがあります。



その場合には「OK」ボタンをクリックして警告画面を閉じたあと、ファイル上でcontrolキーを押しながらクリックする、またはファイル上で右クリックし、メニューから「開く」をクリックしてください。

「TASCAM_IO_CONTROL.pkg」は、Mac App Storeからダウンロードされたものではありません。開いてもよろしいですか? という警告画面が表示されますので、「開く」ボタンをクリックしてください。



このとき、次のGatekeeperの設定を「Mac App Storeからのアプリケーションのみを許可」以外にしている場合と同じ警告画面が表示されることがあります。

「TASCAM_IO_CONTROL.pkg」は、Mac App Storeからダウンロードされたものでないため開けません。」というメッセージが再度表示され、開けないことがあります。




このときは、ファイルのあるフォルダーからデスクトップなど他のフォルダーにファイルをコピーしてから実行するか、Gatekeeperの設定を「Mac App Storeと確認済みの開発元からのアプリケーションを許可」に変更してから再度実行してください。

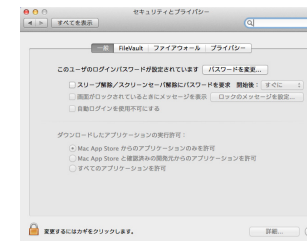
Gatekeeperの設定を「Mac App Storeからのアプリケーションのみを許可」以外にしている場合


「TASCAM_IO_CONTROL_x.x.x.dmg」(x.x.xはソフトウェアのバージョン)は、アプリケーションで、インターネットからダウンロードされました。開いてもよろしいですか? というセキュリティーの警告画面が表示されることがありますが、その場合には「開く」ボタンをクリックしてください。



Gatekeeperの設定を変えるには

Gatekeeperの設定は、システム環境設定の「セキュリティとプライバシー」から「一般」タブの「ダウンロードしたアプリケーションの実行許可:」項目で変更できます。変更するには左下の  アイコンをクリックし、パスワードを入力してロックを解除する必要があります。



 ボタンもしくはcommand + Qなどでシステム環境設定を終了する、または「すべてを表示」をクリックしてこの画面から移動すると、再度ロックされます。

注意

Gatekeeperの設定を変えることで、セキュリティーにリスクが生じる場合があります。

Gatekeeperの設定を変更してセキュリティーを下げた(下にある項目に変更した)ときは、本ソフトウェアのインストール終了後に設定を元に戻してください。

TASCAM IO CONTROL

TASCAM IO CONTROLを起動する

TASCAM IO CONTROLは、ソフトウェアを起動した機器によって起動時の動作モードが異なります。

iPadで起動する

- 「TASCAM IO CONTROL」を起動します。
自動的にバーチャルデバイス*にログインを行います。
 - * バーチャルデバイスとは、DemoモードやOffline Editorモードで用いる仮想のデバイスです。
- ログイン完了後、バーチャルデバイスのINPUT画面が表示されDemoモードで動作します。
Demoモード中は、DEVICE NAME項目に表示される名前のあとに「DEMO」、画面右上に「DEMO MODE」と表示されます。



- Demoモードでは、バーチャルデバイスを用いてSB-16D本体がなくても「TASCAM IO CONTROL」を試用できるモードです。Demoモードを使用することによって、「TASCAM IO CONTROL」で設定可能な内容を確認することができます。ただし、プリセットデータのIMPORT / EXPORTはできません。

メモ

- iPadOS 以外のデバイスでのDemoモードは、サポートされていません。
- 起動時の各パラメーターは、初期設定値に戻ります。
- バーチャルデバイスは、削除 / 再追加が可能です。(→ 8ページ「バーチャルデバイスを削除 / 再追加する」)

Windows / Macで起動する

- 「TASCAM IO CONTROL」を起動します。
自動的にバーチャルデバイスにログインを行います。
- ログイン完了後、バーチャルデバイスのINPUT画面が表示されOffline Editorモードで動作します。
Offline Editorモード中は、画面右上に「OFFLINE EDITOR」と表示されます。



- Offline Editorモードでは、バーチャルデバイスを用いてSB-16D本体がなくても「TASCAM IO CONTROL」でプリセットデータを作成 / 編集することができます。
- Offline Editorモードで編集したプリセットデータは、各デバイスにEXPORTしたあと、SB-16D本体にIMPORTすることができます。
- SB-16D本体で設定したプリセットデータを、EXPORTしてOffline EditorモードでIMPORTすることで再編集することができます。

メモ

- iPadOS デバイスでのOffline Editorモードは、サポートされていません。
- プリセットデータは、アプリケーション内の管理領域への保存・呼び出し、Windows / Mac上の選択フォルダーへのバックアップ・リストアを行います。
- Offline Editorモードで作成したプリセットデータは、アプリケーションを終了しても失われません。
- 起動時の各パラメーターは、初期設定値に戻ります。
- バーチャルデバイスは、削除 / 再追加が可能です。(→ 8ページ「バーチャルデバイスを削除 / 再追加する」)

TASCAM IO CONTROLの動作モード

TASCAM IO CONTROLには、以下の動作モードがあります。

Demoモード

iPadにてTASCAM IO CONTROLを起動したときのみ、Demoモードになります。

Demoモード中は、DEVICE NAME項目に表示される名前のあとに「DEMO」、画面右上に「DEMO MODE」と表示されます。

Offline Editorモード

WindowsおよびMacにてTASCAM IO CONTROLを起動したときのみ、Offline Editorモードになります。

Offline Editorモード中は、画面右上に「OFFLINE EDITOR」と表示されます。

Remoteモード

DemoモードまたはOffline Editorモードにて起動中、各デバイスと同じネットワークに接続しているSB-16Dにログインしたときのみ、Remoteモードになります。

Remoteモードへの切り換えは、8ページ「TASCAM IO CONTROLとSB-16D本体をネットワーク接続する」をご参照ください。

TASCAM IO CONTROL

TASCAM IO CONTROLとSB-16D本体をネットワーク接続する

SB-16D本体と各デバイスをネットワーク接続して、TASCAM IO CONTROLの動作モードをRemoteモードにすることで、一度に1台のSB-16D本体を操作することが可能です。

メモ

- 一度に操作できるSB-16D本体は1台です。同時に複数のSB-16D本体を操作することはできません。
- SB-16Dにログイン中、一部のメニュー項目に操作できない項目があります。

- SB-16D本体の電源を入れます。
- SB-16D本体のETHERNET端子とルーターを接続します。(カテゴリ 6以上のLANケーブルをご使用ください。)
- 各デバイスをWi-Fiか有線接続で、先ほどのルーターに接続します。

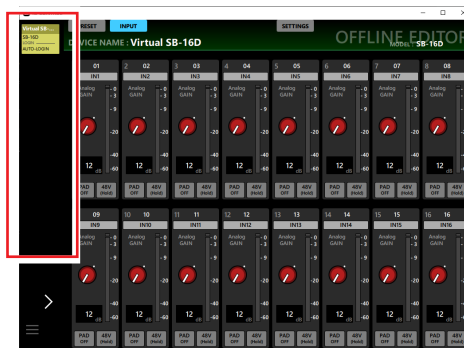
注意

- SB-16DのPRIMARY端子と各デバイスを同じネットワークに接続してください。ルーターを経由して接続される場合、ソフトウェアがUPnPマルチキャストによるネットワーク上の機器の検出を行えないことがあります。1つのハブやルーターにSB-16D本体と各デバイスを接続している場合でも、お使いの機種によっては検出が行えない場合があります。詳しくは、ネットワーク管理者様へお問い合わせください。
- TASCAM IO CONTROLからSB-16Dにログインできるデバイスは、1台のみとなります。複数のデバイスからTASCAM IO CONTROL上で同一のSB-16Dに同時にログインはできません。

メモ

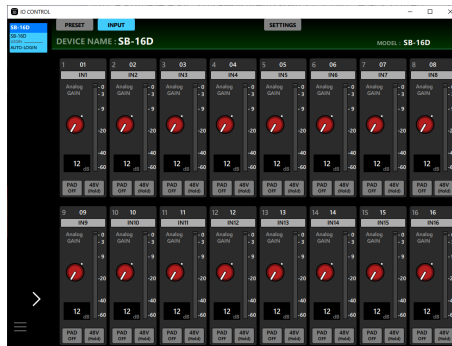
Danteオーディオのネットワークと、ソフトウェアから操作するためのネットワークは共通です。

- 「TASCAM IO CONTROL」を起動します。アプリケーションがSB-16Dを検出すると、デバイスブラウザエリアに追加されます。



複数のSB-16DがLANで接続されている場合は、接続されているSB-16Dすべてがデバイスブラウザエリアに表示されます。

- 操作するSB-16Dをタップします。SB-16D本体と各デバイスの接続が確立されると、TASCAM IO CONTROLの動作モードがRemoteモードになります。



メモ

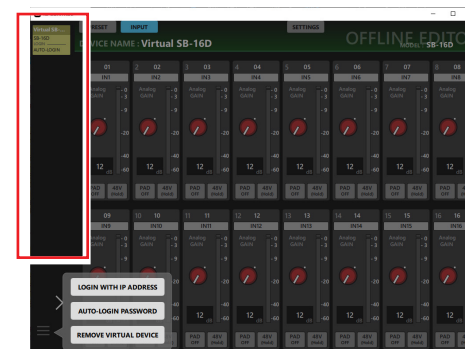
SB-16Dに初期パスワードは、設定されていません。パスワード空欄のままログインしてください。必要に応じ、SETTINGS画面でSB-16Dにパスワードを設定してください。パスワードを設定しないと保護されません。(→ 19ページ「SETTINGS画面」)

バーチャルデバイスを削除／再追加する

DemoモードおよびOffline Editorモードで使用するバーチャルデバイスは、追加／削除することができます。

Virtual Deviceを削除する

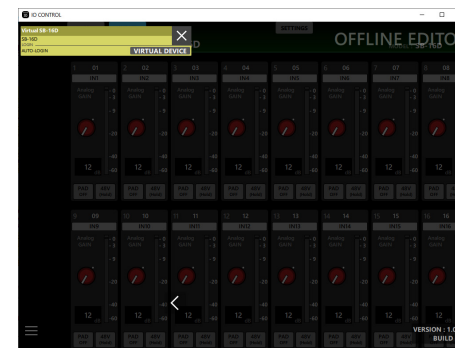
- デバイスブラウザエリアにバーチャルデバイスが表示されているときに、デバイスメニューボタン(☰)をタップしてメニューウィンドウを表示します。



- REMOVE VIRTUAL DEVICEボタンをタップすると、バーチャルデバイスが削除されます。

メモ

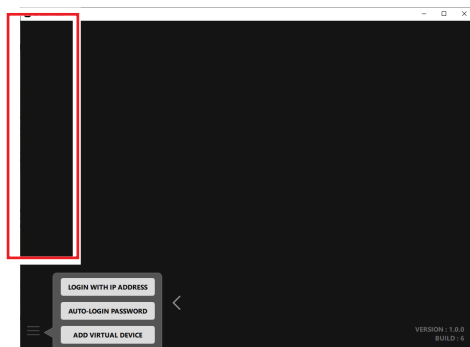
デバイスブラウザエリアを拡張表示したときのバーチャルデバイスのアイコン右上の × ボタンからも削除することができます。



TASCAM IO CONTROL

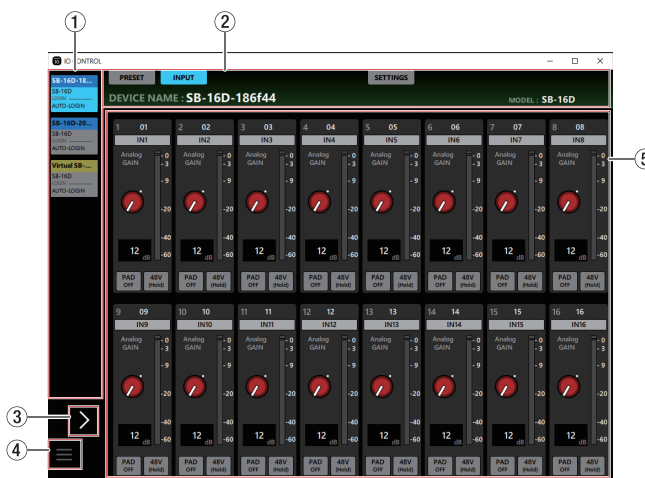
バーチャルデバイスを再追加する

1. デバイスブラウザエリアにバーチャルデバイスが表示されていないときに、デバイスメニューボタン (≡) をタップしてメニューウィンドウを表示します。



2. ADD VIRTUAL DEVICEボタンをタップします。デバイスブラウザエリアにバーチャルデバイスが追加されます。

画面の構成



① デバイスブラウザエリア

接続したDanteネットワーク内で検出されたSB-16Dのモデル名、機器のニックネーム、およびログイン状態が表示されます。ネットワークアドレスが違っていたり、ルーターを経由していたりするSB-16Dは、ここに表示されません。

アイコン表示	ログイン状態	内容
 (バーチャルデバイス)	自動ログイン (非選択中)	SB-16Dの装置を検出後、「TASCAM IO CONTROL」が持っているパスワードで一度管理者としてログインを試みます。ログインに問題なかった場合は左のような色になり、ここをクリックするとその装置を操作できるようになります。

アイコン表示	ログイン状態	内容
 (バーチャルデバイス)	自動ログイン (選択中)	装置の操作エリア (⑤) で各種操作を行う対象のデバイスであることを示しています。
	自動ログイン 失敗	「TASCAM IO CONTROL」が持っているパスワードと、SB-16Dの装置の管理者パスワードが一致しませんでした。このアイコン表示をクリックすると、以下の画面をポップアップ表示します。 パスワードを入力しログイン成功すると、操作できるようになります。
	手動ログイン	前述の方法でログインした場合、「MANUAL」と表示されます。

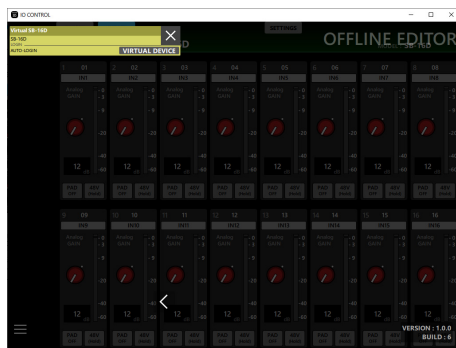
TASCAM IO CONTROL

② タブエリア

装置の操作エリア(⑤)に表示する画面の切り換え、および選択しているSB-16D本体の内部動作の設定を行います。(→ 11ページ「タブエリアについて」)

③ デバイスブラウザ拡張ボタン

この部分をタップすると、デバイスブラウザエリアの表示が広がります。拡張表示することで省略表示されていたニックネームを確認できます。

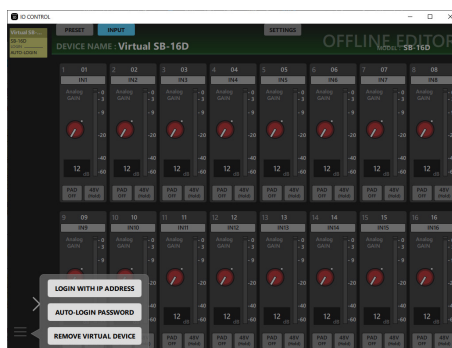


メモ

「TASCAM IO CONTROL」のバージョンは、この画面の右下に表示されます。

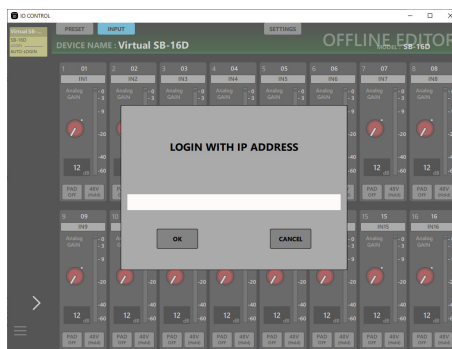
④ デバイスメニューボタン (☰)

このボタンをタップすると、以下のメニューウィンドウが表示されます。



● LOGIN WITH IP ADDRESS

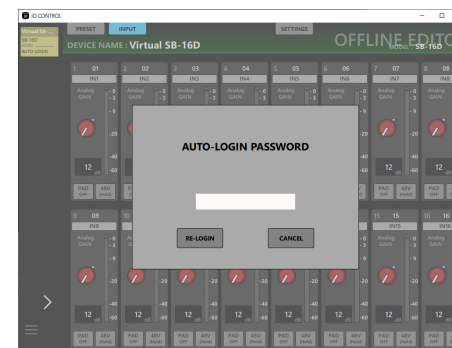
このメニューをタップすると下記の画面が表示され、IPアドレスを入力してログインすることができます。



SETTINGS画面のNETWORK SETTING項目でDHCPをSTATIC(DHCP OFF)にしていて、なおかつ異なるネットワークセグメントに属しているなどの理由でUPnPマルチキャストによる検出が行えない場合、本機能を使用します。

● AUTO-LOGIN PASSWORD

このメニューをタップすると下記の画面が表示され、新しいパスワードを登録することができます。



アルファベット大文字、小文字、数字に加え、下記の記号を入力することができます。

() [] { } ! @ # \$ % & . : ; _ ' ` ^ ~

文字数は、20文字までです。

AUTO-LOGIN PASSWORD項目に新しいパスワードを入力後にRE-LOGINボタンをタップすると、新しいパスワードでログインしなおします。また、「TASCAM IO CONTROL」に保存され、次のログインからはそのパスワードを使用します。

● REMOVE VIRTUAL DEVICE / ADD VIRTUAL DEVICE

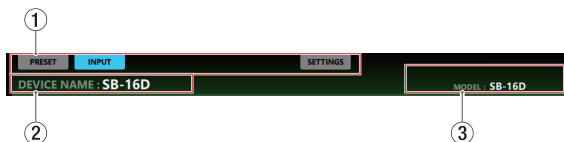
このメニューをタップすると、バーチャルデバイスを削除/再追加を行います。(→ 8ページ「バーチャルデバイスを削除/再追加する」)

⑤ 装置の操作エリア

選択中のSB-16D本体の設定を行います。タブエリア(②)の画面選択ボタンをタップし、操作エリアに表示される画面を切り換えます。(→ 11ページ「タブエリアについて」)

タブエリアについて

画面の上部に各画面を選択するボタンがあります。ウィンドウやタブレットの画面のサイズによって、ボタンの配置が異なります。



① 画面選択ボタン

画面選択ボタンをタップして、表示する画面を切り換えます。表示している画面の選択ボタンが点灯します。

ボタン	内容
PRESET	現在のプリセットの情報を表示、およびプリセットの設定、操作をします。
INPUT	入力されてきた信号の情報を表示、および設定をします。
SETTING	接続しているSB-16Dのステータス（状態）を表示、および設定をします。

② DEVICE NAME表示

SETTINGS画面のDEVICE NAME項目にて設定した名前を表示します。(→ 19ページ「SETTINGS画面」)

③ MODEL表示

「TASCAM IO CONTROL」に接続中の機器のモデル名を表示します。

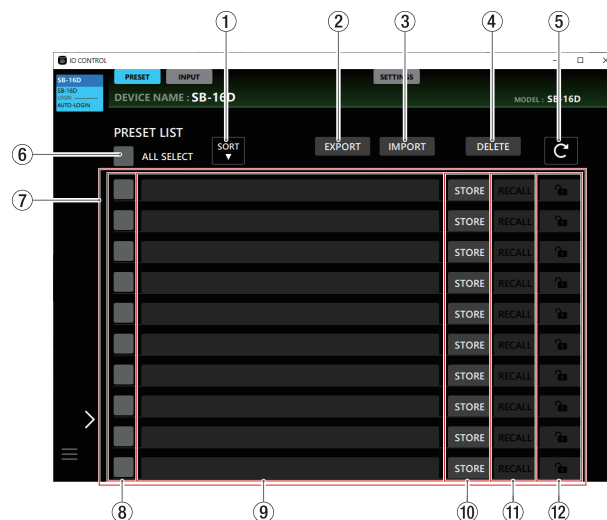
PRESET画面

PRESET画面では、プリセットデータの管理／編集を行います。ここでは、プリセットデータを保存する各エリアを「データスロット」と呼びます。

プリセットデータには、下記の設定が保存されます。

- INPUT画面
 - Channel Name
 - Gain
 - Pad
 - Phantom
- SETTINGS画面
 - Device Name (Device Name Recall Safe対象)
 - Password (Network Recall Safe対象)
 - LED Brightness
 - DC Power各種設定
 - Sampling Frequency
 - Reference Level
 - Meter Headroom
 - Control Network各種設定 (Network Recall Safe対象)
 - GPIO Settings

最大10のプリセットデータを保存することができます。



メモ

表示しているSB-16Dの制御権を他のSonicviewが持っている場合は、以下の機能は実行することができません。

OVERWRITE、RECALL、DELETE、LOCK、UNLOCK

この状態で、これらのボタンを操作すると制御権要求を行います。(→ 15ページ「制御権の取得方法 (PRESET画面)」)

① SORTボタン

このボタンをタップすると、プリセットの名前順にプリセットデータを並べ替えます。

② EXPORTボタン (Windows版 / Mac版のみ表示)

SB-16D本体の内蔵メモリー内にあるプリセットデータをパソコンにEXPORTします。(→ 12ページ「プリセットデータをEXPORTする」)

メモ

- iPadOS版では、EXPORT機能をサポートしていません。
- プリセットデータのバックアップや、プリセットデータを他のSB-16Dにコピーしたいときに使用します。

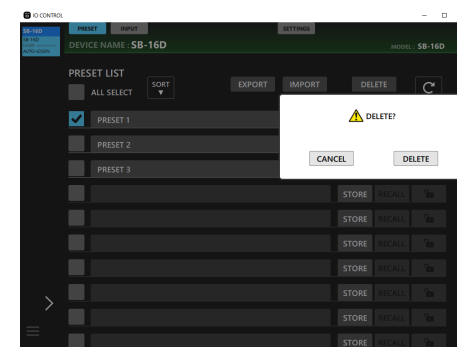
③ IMPORTボタン (Windows版 / Mac版のみ表示)

パソコンにEXPORTしたプリセットデータをIMPORTします。(→ 13ページ「プリセットデータをIMPORTする」)

④ DELETEボタン

チェックボックス (⑧) にチェックマーク (✓) を入れたデータスロットのうち、lockされていないプリセットデータを、すべて削除します。

このボタンをタップすると、選択したプリセットデータを消去する確認メッセージが表示されます。



- DELETEボタンをタップすると、選択したプリセットデータを消去して確認メッセージを閉じます。
- CANCELボタンをタップすると、確認メッセージを閉じます。

⑤ ㊦ ボタン

プリセットリスト表示を更新します。

⑥ ALL SELECT表示

プリセットリストに表示されているプリセットデータすべてを選択するときにチェックマーク (✓) を入れます。

⑦ プリセットリスト表示部

保存したプリセットデータをリスト表示します。

⑧ チェックボックス

プリセットデータをファイルにEXPORTする、または消去するときにチェックマーク (✓) を入れます。

㊦ ボタン (⑤) をタップすると、チェックボックスのチェックマーク (✓) がすべて消えます。

⑨ プリセット名表示部

プリセット名を表示します。

この部分をタップすると、カーソルが点滅して文字が入力できるようになりプリセット名を編集することができます。アルファベット96文字、かな漢字約32文字までの文字を入力できます。

プリセット名を入力したあとにキーボードのEnterをタップすると、プリセットデータがない場合はSTOREの確認メッセージが表示されます。すでにプリセットデータがある場合は、プリセット名を変更します。

編集中にキーボードのEscapeをタップすると編集を破棄します。

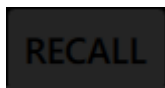
⑩ STORE / OVERWRITEボタン

空のデータスロットのSTOREボタンをタップすると、現在の設定をSTORE (保存) します。また、空でないデータスロットではOVERWRITEボタンとなり、上書きすることができます。(→ 14ページ「プリセットデータをSTOREする」)

⑪ RECALLボタン

RECALLしたいデータスロットのRECALLボタンをタップすると、プリセットデータの設定をRECALLします。(→ 14ページ「プリセットデータをRECALLする」)

空のデータスロットが表示されている場合は、ボタンが以下の表示となります。



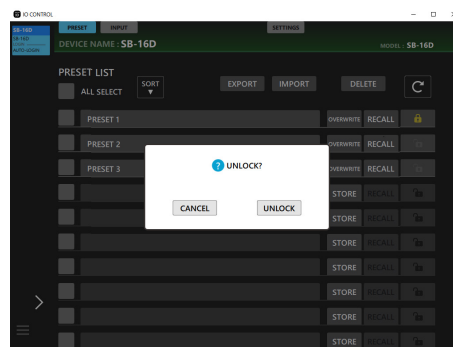
⑫ LOCK / UNLOCKボタン

- 各データスロットのLOCK / UNLOCK状態を表示します。

ボタン	内容
	データスロットに設定データが保存されていない状態
	UNLOCK状態
	LOCK状態

- LOCKしたいデータスロットのボタンをタップすると、プリセットデータがLOCKされます。LOCKされたデータスロットは、プリセット名の変更およびプリセットデータの上書き/消去ができなくなります。

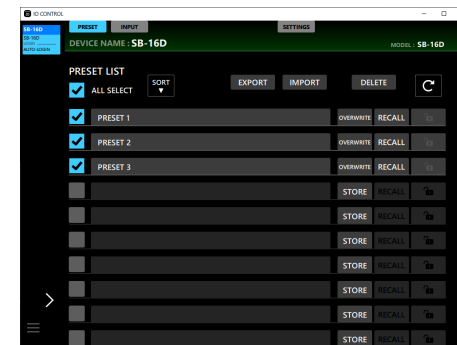
- UNLOCKしたいデータスロットのボタンをタップすると、確認メッセージが表示されます。



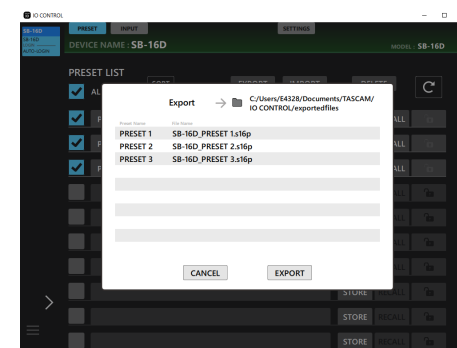
- UNLOCKボタンをタップすると、解除して確認メッセージを閉じます。
- CANCELボタンをタップすると、解除せずに確認メッセージを閉じます。

プリセットデータをEXPORTする

- EXPORTしたいプリセット名のチェックボックス (⑧) をタップします。
すべてのプリセットデータをEXPORTする場合は、ALL SELECTのチェックボックス (⑥) をタップします。

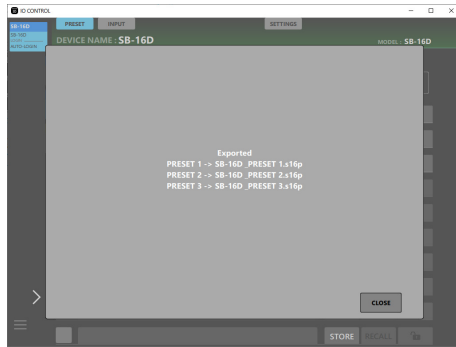


- EXPORTボタンをタップします。
EXPORTウィンドウが表示されます。



3. ウィンドウ内のEXPORTボタンをタップすると、EXPORTを実行します。

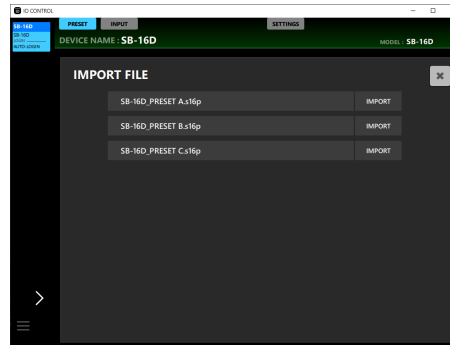
EXPORTが完了すると、下記のメッセージが表示されます。



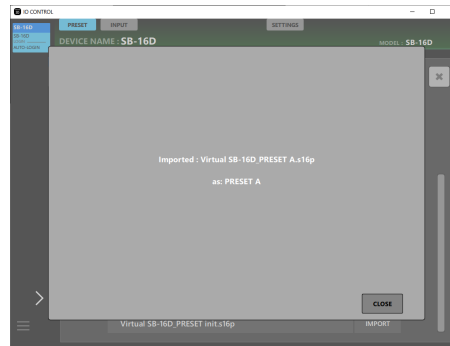
ウィンドウ内のCLOSEボタンをタップすると、ウィンドウを閉じます。

プリセットデータをIMPORTする

1. IMPORTボタンをタップします。
IMPORTファイル一覧のウィンドウが表示されます。



2. IMPORTしたいプリセットデータのIMPORTボタンをタップします。
空いているデータスロットの一番上にIMPORTが実行されます。
IMPORTが完了すると、下記のメッセージが表示されます。

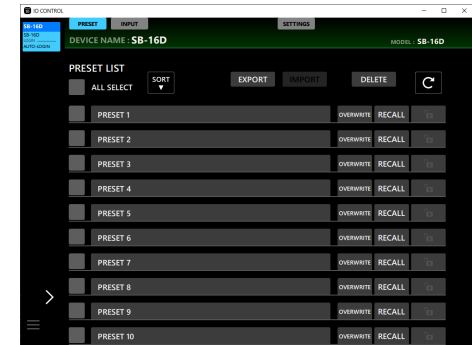


3. メッセージ内のCLOSEボタンをタップして、IMPORTファイル一覧のウィンドウに戻ります。

4. IMPORTファイル一覧のウィンドウ右上の [X] ボタンをタップすると、ウィンドウを閉じます。

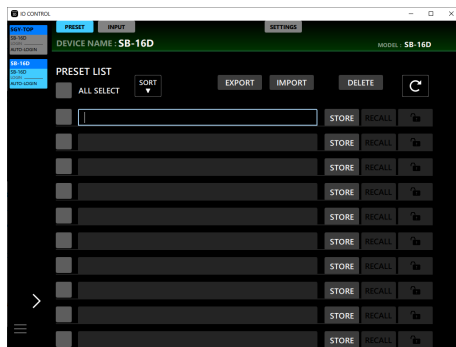
メモ

空いているデータスロットがない場合は、IMPORTボタンが無効表示になり、操作できません。

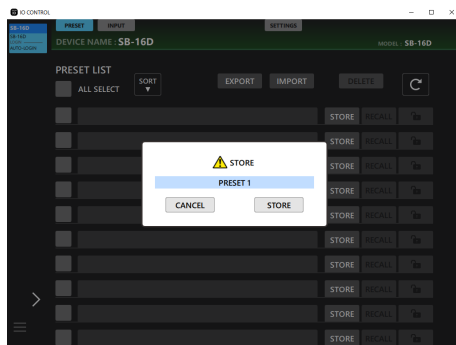


プリセットデータをSTOREする

1. 現在の設定を、STORE（保存）したい空のデータスロットのプリセット名表示部をタップします。
カーソルが点滅して文字が入力できるようになります。



- プリセット名はアルファベット96文字、かな漢字約32文字までの文字を入力できます。
2. プリセット名入力後キーボードのEnterキーをタップするかSTOREボタンをタップします。
確認メッセージが表示されます。



メモ

- プリセット名を入力せずにSTOREボタンを押した場合、プリセット名がPRESET X（Xはデータスロットの位置に応じた数字）と自動的に入力された状態で確認メッセージが表示されます。
- 確認メッセージ上でもプリセット名の編集が可能です。

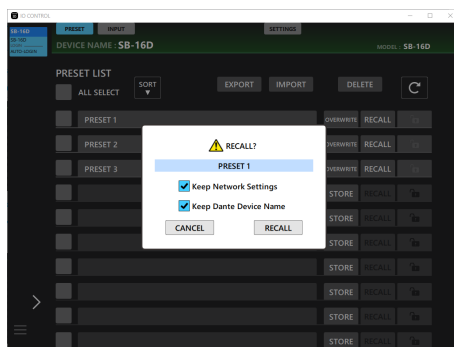
3. プリセット名の確認完了後、STOREボタンをタップします。
プリセットを作成し、ウィンドウを閉じます。
 - プリセットリストにすでに同じ名前のプリセットデータがある場合は、指定したプリセット名の末尾に「_X」（Xは数字）を追加したプリセット名でSTOREします。
 - CANCELボタンをタップすると、STOREを中止して確認メッセージを閉じます。

メモ

空でないデータスロットの場合、STOREボタンではなくOVERWRITEボタンとなり上記と同様の手順で上書きを行います。

プリセットデータをRECALLする

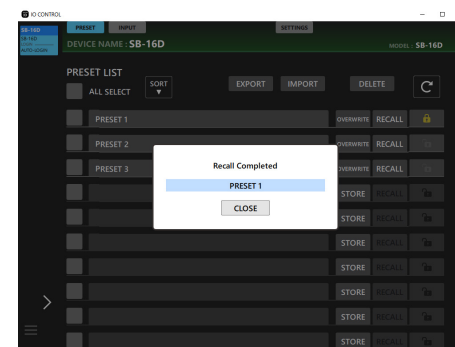
RECALL（呼び出し）したいプリセットの入ったデータスロットのRECALLボタンをタップします。
確認メッセージが表示されます。



項目名	内容
Keep Network Settings	チェックマーク (✓) が付いていると、SB-16Dのパスワードおよび制御用ネットワークの設定を維持します。 チェックマーク (✓) を外すと、SB-16Dのパスワードおよび制御用ネットワーク設定はプリセットの設定が適用されます。 (初期状態：チェックマーク (✓) あり)
Keep Dante Device Name	チェックマーク (✓) が付いていると、SB-16DのDevice Nameの設定を維持します。 チェックマーク (✓) を外すと、SB-16DのDevice Nameはプリセットの設定が適用されます。 (初期状態：チェックマーク (✓) あり)

- 確認メッセージのRECALLボタンをタップすると、RECALL処理を実施し、確認メッセージを閉じます。
- 確認メッセージのCANCELボタンをタップすると、RECALL処理を実施せずに確認メッセージを閉じます。

RECALL処理が完了するとメッセージが表示されます。また、このメッセージは表示されてから3秒後に自動的に消えます。

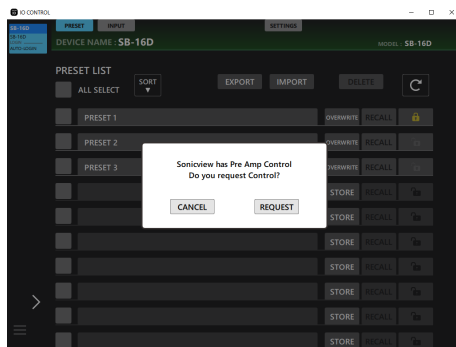


TASCAM IO CONTROL

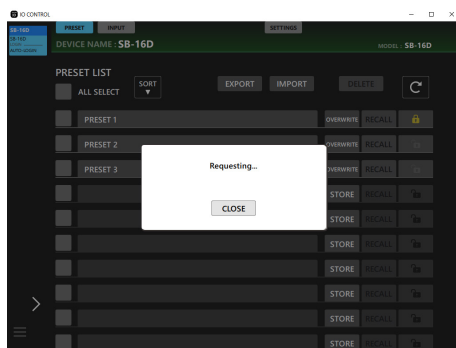
制御権の取得方法 (PRESET画面)

表示しているSB-16Dの制御権を他のSonicviewが持っている場合は、以下の機能は実行することができません。

OVERWRITE、RECALL、DELETE、LOCK、UNLOCK
この状態で、これらのボタンを操作すると制御権要求を行います。

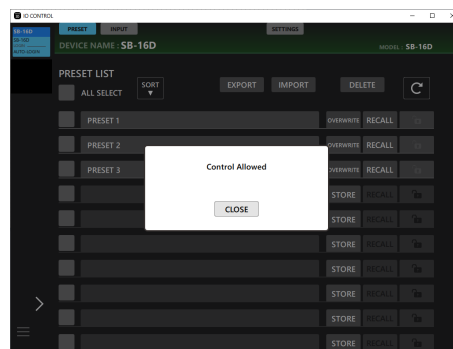


- 確認メッセージのCANCELボタンをタップすると、制御権要求処理を実施せずに確認メッセージを閉じます。
- 確認メッセージのREQUESTボタンをタップすると、制御権を持っているSonicviewに制御権要求を行います。返事が来るまで以下の画面が表示され続けます。

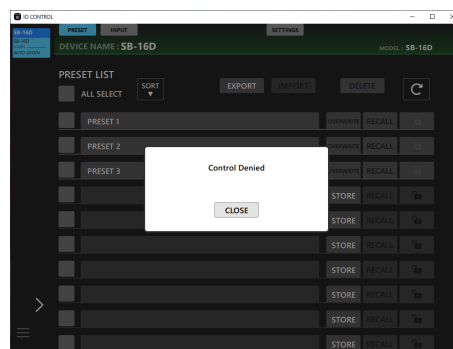


この画面は閉じることができませんが、閉じても要求は中止されません。

- 要求を受けたSonicviewが許可した場合「Control Allowed」に表示が変わり、CLOSEボタンをタップすることで各種操作ができるようになります。



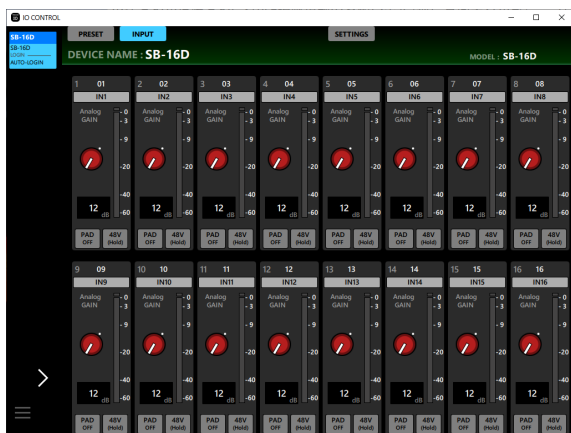
- 要求を受けたSonicviewが拒否した場合「Control Denied」に表示が変わり、CLOSEボタンをタップしても各種操作はできません。



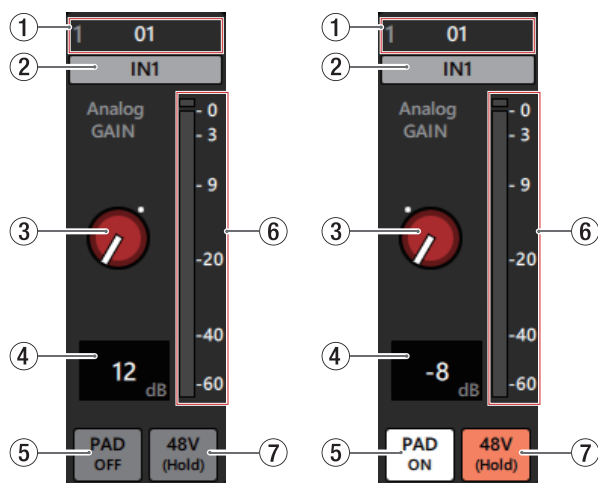
なお、表示が「Control Allowed」または「Control Denied」に切り替わってから3秒後、これらのメッセージは自動で閉じます。

INPUT画面

INPUT画面では、入力されてきた信号の情報表示、および設定をすることができます。



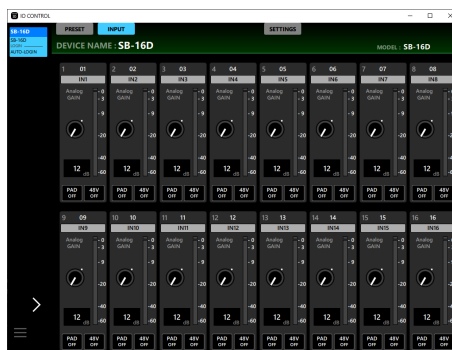
[Windows版 INPUT画面]



[INPUT画面詳細]

メモ

表示しているSB-16Dの制御権を他のSonicviewが持っている場合は、下図のようにノブやボタンがブラックアウト表示になり操作できません。(→ 18ページ「制御権の取得方法 (INPUT画面)」)



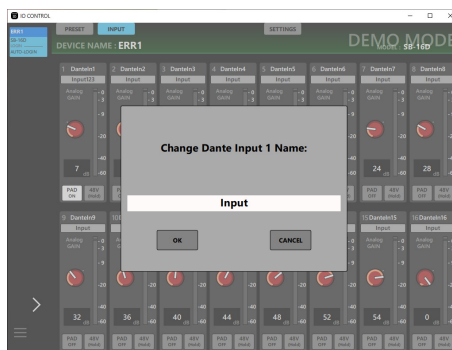
[他のSonicviewが制御権を持っている場合の表示例]

① Dante Channel Label表示部

Dante Controllerから編集できるDante Channel Labelを表示します。
IO CONTROLから編集はできません。
Dante Controllerとは、表示可能な文字数が異なります。

② Inputチャンネル名表示

- Inputチャンネル名を表示します。
- この部分をクリックすると、Inputチャンネル名を変更するウィンドウが表示されます。



この部分をクリックすると、カーソルが点滅して文字が入力できるようになります。

アルファベット8文字までの文字を入力できます。

③ Analog GAINノブ

アナログ入力端子からの入力レベルを調節します。
Analog GAINノブを上下にドラッグして、入力レベルを調節します。
Analog GAINノブのゲイン値は、Analog Gainレベル表示 (④) に表示されます。

Analog Reference Level = +6dBu /
Digital Reference Level = -9dBFS時

PADボタン設定状態	設定範囲
OFF	+3 (初期値) ~ +57
ON	-17 ~ +37

Analog Reference Level = +4dBu /
Digital Reference Level = -20dBFS時

PADボタン設定状態	設定範囲
OFF	+12 (初期値) ~ +66
ON	-8 ~ +46

Analog Reference Level = +4dBu /
Digital Reference Level = -18dBFS時

PADボタン設定状態	設定範囲
OFF	+10 (初期値) ~ +64
ON	-10 ~ +44

Analog Reference Level = +4dBu /
Digital Reference Level = -16dBFS時

PADボタン設定状態	設定範囲
OFF	+8 (初期値) ~ +62
ON	-12 ~ +42

Analog Reference Level = +4dBu /
Digital Reference Level = -14dBFS時

PADボタン設定状態	設定範囲
OFF	+6 (初期値) ~ +60
ON	-14 ~ +40

Analog Reference Level = 0dBu /
Digital Reference Level = -20dBFS時

PADボタン設定状態	設定範囲
OFF	+8 (初期値) ~ +62
ON	-12 ~ +42

Analog Reference Level = 0dBu時 /
Digital Reference Level = -18dBFS時

PADボタン設定状態	設定範囲
OFF	+6 (初期値) ~ +60
ON	-14 ~ +40

メモ

Analog GAINの数値について

Analog Reference Level (+6dBu, +4dBu, 0dBu) の信号を入力したときに、デジタル段でDigital Reference Level (-9dBFS, -14dBFS, -16dBFS, -18dBFS, -20dBFS) になるAnalog GAIN値を「0」と表示します。

④ Analog GAINレベル表示

この表示部の上にあるAnalog GAINノブのレベルをデシベル単位の数値で表示します。
ここをタップすると、キーボードを使ってAnalog Gainレベルの値を設定することができます。

⑤ PADボタン

このボタンをタップすると、-20dBのパッドのオン/オフが切り換わります。(初期値：オフ)
このボタンがオンのとき、ボタンがハイライト表示になります。

メモ

パッドのオン/オフの切り換え時、できる限りAnalog GAIN値が変わらないよう、下記のように制御されます。

Analog Reference Level = +6dBu /
Digital Reference Level = -9dBFS時

PAD切り換え前の状態	PAD切り換え後のAnalog GAIN値
Analog GAIN : +3 ~ +37時	同じ値
PAD ON/Analog GAIN : -17 ~ +2時	+3
PAD OFF/Analog GAIN : +38 ~ +57時	+37

Analog Reference Level = +4dBu /
Digital Reference Level = -20dBFS時

PAD切り換え前の状態	PAD切り換え後のAnalog GAIN値
Analog GAIN : +12 ~ +46時	同じ値
PAD ON/Analog GAIN : -8 ~ +11時	+12
PAD OFF/Analog GAIN : +47 ~ +66時	+46

Analog Reference Level = +4dBu /
Digital Reference Level = -18dBFS時

PAD切り換え前の状態	PAD切り換え後のAnalog GAIN値
Analog GAIN : +10 ~ +44時	同じ値
PAD ON/Analog GAIN : -10 ~ +9時	+10
PAD OFF/Analog GAIN : +45 ~ +64時	+44

Analog Reference Level = +4dBu /
Digital Reference Level = -16dBFS時

PAD切り換え前の状態	PAD切り換え後のAnalog GAIN値
Analog GAIN : +8 ~ +42時	同じ値
PAD ON/Analog GAIN : -12 ~ +7時	+8
PAD OFF/Analog GAIN : +43 ~ +62時	+42

Analog Reference Level = +4dBu /
Digital Reference Level = -14dBFS時

PAD切り換え前の状態	PAD切り換え後のAnalog GAIN値
Analog GAIN : +6 ~ +40時	同じ値
PAD ON/Analog GAIN : -14 ~ +5時	+6
PAD OFF/Analog GAIN : +41 ~ +60時	+40

Analog Reference Level = 0dBu /
Digital Reference Level = -20dBFS時

PAD切り換え前の状態	PAD切り換え後のAnalog GAIN値
Analog GAIN : +8 ~ +42時	同じ値
PAD ON/Analog GAIN : -12 ~ +7時	+8
PAD OFF/Analog GAIN : +43 ~ +62時	+42

Analog Reference Level = 0dBu時 /
Digital Reference Level = -18dBFS時

PAD切り換え前の状態	PAD切り換え後のAnalog GAIN値
Analog GAIN : +6 ~ +40時	同じ値
PAD ON/Analog GAIN : -14 ~ +5時	+6
PAD OFF/Analog GAIN : +41 ~ +60時	+40

⑥ レベルメーター表示

Dante出力直前の信号レベルを表示します。

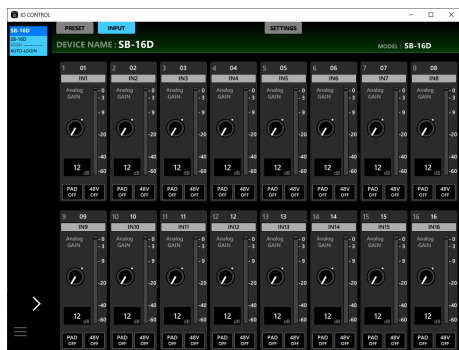
- 各レベルメーターの最上部は、オーバーロードインジケータです。
- お使いのネットワーク環境やWi-Fiの接続状況により、レベルメーターの遅延や停止が発生することがあります。

⑦ 48Vボタン

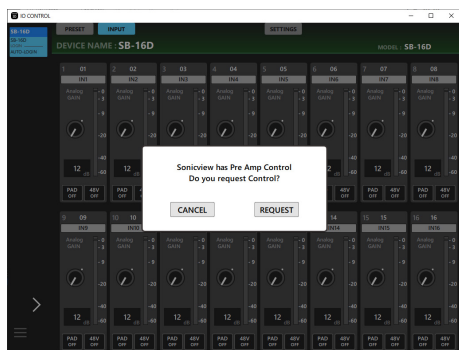
このボタンをタッチし続けると、ファンタム電源のオン/オフが切り換わります。ファンタム電源がオンのとき、ボタンがハイライト表示になります。

制御権の取得方法 (INPUT画面)

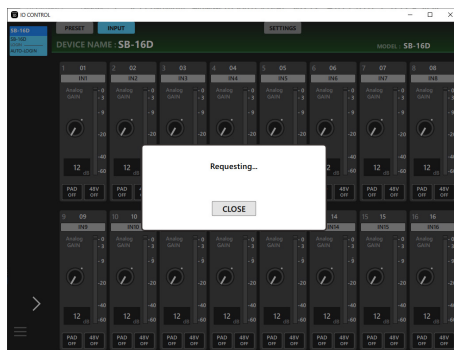
表示しているSB-16Dの制御権を他のSonicviewが持っている場合は、下図のようにノブやボタンがブラックアウト表示になり操作できません。



この状態でAnalog GainノブやPADボタンなどを操作しようとする
と制御権要求の確認メッセージが表示されます。

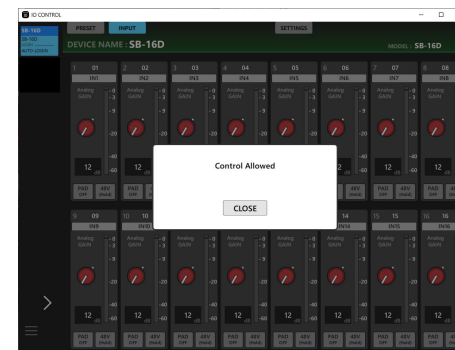


- 確認メッセージのCANCELボタンをタップすると、制御権要求処理を実施せずに確認メッセージを閉じます。
- 確認メッセージのREQUESTボタンをタップすると、制御権を持っているSonicviewに制御権要求を行います。返事が来るまで以下の画面が表示され続けます。

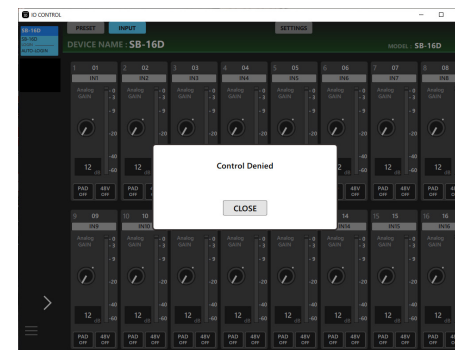


この画面は閉じることができますが、閉じても要求は中止されません。

- 要求を受けたSonicviewが許可した場合「Control Allowed」に表示が変わり、ノブやボタンの色も変化します。CLOSEすることで各種操作ができるようになります。



- 要求を受けたSonicviewが拒否した場合「Control Denied」に表示が変わり、CLOSEしても各種操作はできません。



なお、表示が「Control Allowed」または「Control Denied」に切り替わってから3秒後、これらのメッセージは自動で閉じます。

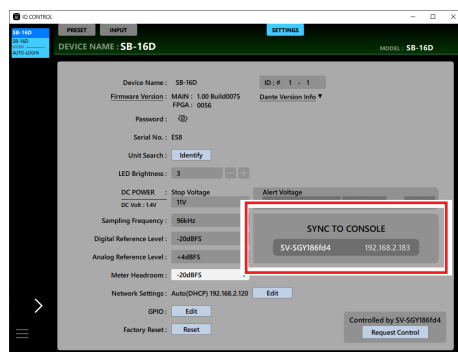
SETTINGS画面

SETTINGS画面は、接続しているSB-16D本体のステータス（状態）の表示、および設定を変更することができます。



メモ

表示しているSB-16Dの制御権を他のSonicviewが持っている場合は、下記のように制御権を持っているデバイスのDante Device NameとそのIPアドレスが表示されて操作できません。（→ 21ページ「制御権の取得方法（SETTINGS画面）」）



【他のSonicviewが制御権を持っている場合の表示例】

① Device Name

タブエリアの「DEVICE NAME」に表示されるSB-16Dの名前を表示します。
この部分をタップすると、カーソルが点滅して文字が入力できるようになります。
アルファベット31文字までの文字を入力できます。

メモ

Device Nameを変更すると、Dante Controllerから見ることができる「Device Name」も変更されます。
Device NameとDante Controller上で表示される「Device Name」では、文字数や使える文字の制限が異なります。
Dante Controllerの制限を超えたDevice Nameにした場合、自動的に変更されます。
制限については、Dante Controllerの取扱説明書をご参照ください。

② ID

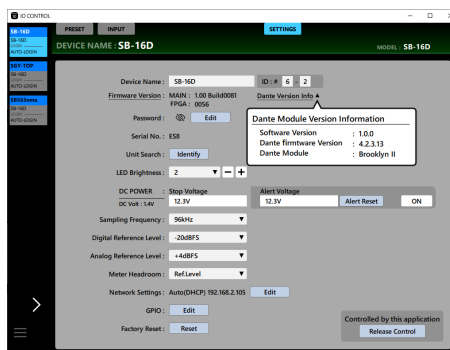
表示されているSB-16DのDevice IDを表示します。
上位下位ともにこの部分をタップすると、それぞれカーソルが点滅して1から16までの数字が入力できるようになります。

注意

本機に設定されたデバイスIDは、同じネットワークに接続された別のSB-16Dと重複しないように設定してください。

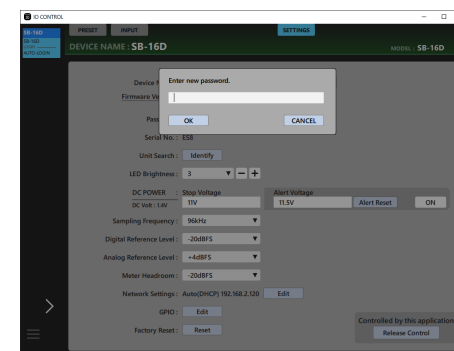
③ Firmware Version

- 接続しているSB-16D本体のファームウェアバージョンを表示します。
- 「Dante Version Info」をタップすると、Dante Module Version Information画面を表示します。



④ Password

ログイン画面のパスワードを変更する場合、EditボタンをタップしてEnter new password画面を表示します。



アルファベット大文字、小文字、数字に加え、下記の記号を入力することができます。

()[]{}!@#\$%&.,;_`^`~`

文字数は、20文字までです。

メモ

出荷時のパスワードは空白です。
パスワードを設定しないと保護されません。

⑤ Serial No.

接続しているSB-16D本体のシリアル番号を表示します。

⑥ Unit Search

- Identifyボタンをタップすると、IdentifyコマンドをSB-16Dへ送信します。Identifyコマンドを受信したSB-16Dは、SIGインジケータとSTATUSインジケータが点滅して応答しますので、どれが該当するデバイスか確認することができます。SB-16Dが応答中に再度このボタンをタップしてIdentifyコマンドを送信すると、該当するSB-16Dの応答を終了します。
- バーチャルデバイスの場合は、このボタンは表示されません。

⑦ LED Brightness

接続しているSB-16D本体のフロントパネルにある各インジケータの輝度を設定します。

設定値：0～3（初期値：3）

この部分をタップすると、設定値のリストが表示されます。また、右の-ボタンまたは+ボタンを用いて1段階ずつ調節することができます。

⑧ DC POWER表示部

接続しているSB-16DのDC電源の状態表示と設定を行います。

項目名	内容
DC Volt.	DC電源の現在の電圧と状態を表示します。DC電源が正常に供給されている場合は、緑色のインジケータが表示されます。アラート表示設定がONで、DC電源電圧がアラート電圧を下回っている場合、  インジケータが表示されます。DC電源が供給されていない場合（DC電源電圧が終止電圧を下回っている場合）は、インジケータは表示されません。
Stop Voltage	終止電圧を設定します。 この部分をタップすると、カーソルが点滅し数値が入力できるようになります。 設定値：11V～27V（初期値：11V） SB-16DがDC電源のみで動作している場合は、DC電源電圧がこの電圧を下回るとSB-16Dがシャットダウンします。 DC電源をバッテリーから供給している場合は、バッテリー仕様の終止電圧を設定してください。それ以外の場合は、最低の「11.0V」に設定してください（初期値：11.0V）。
Alert Voltage	アラート電圧を設定します。 この部分をタップすると、カーソルが点滅し数値が入力できるようになります。 設定値：11V～27.5V Stop Voltageの設定を変更すると自動的に「Stop Voltage +0.5V」に設定されます。 アラート表示されるタイミングが早かったり遅かったりする場合は、この設定を変更することで調節してください。
Alert Reset ボタン	このボタンをタップすると、「Alert Voltage」の設定値が初期値（Stop Voltage +0.5V）に戻ります。
Alert Voltage ON / OFFボタン	このボタンが「OFF」に設定されている場合は、Alert Voltageがグレーアウト表示になり操作できません。

⑨ Sampling Frequency

- 接続しているSB-16D本体のサンプリング周波数を表示します。
- この部分をタップすると、設定値のリストが表示されます。
設定値：48kHz、96kHz（初期値）

⑩ Digital Reference Level

- 接続しているSB-16DのDigitalの基準レベルを設定します。
- この部分をタップすると、設定値のリストが表示されます。
設定値：-9dBFS、-14dBFS、-16dBFS、-18dBFS、-20dBFS（初期値）

⑪ Analog Reference Level

- 接続しているSB-16DのAnalogの基準レベルを設定します。
- この部分をタップすると、設定値のリストが表示されます。
設定値：+6dBu、+4dBu（初期値）、0dBu

メモ

Digital Reference Levelの設定状態によっては、Analog Reference Levelの選択ができないことがあります。

		Analog Reference Level		
		+6dBu	+4dBu	0dBu
Digital Reference Level	-9dBFS	○	×	×
	-14dBFS	×	○	×
	-16dBFS	×	○	○
	-18dBFS	×	○	○
	-20dBFS	×	○	○

○：選択可、×：選択不可

⑫ Meter Headroom

- 接続しているSB-16D本体のアナログ出力のヘッドルーム（最大レベルとリファレンスレベルとの差）を表示します。
- この部分をタップすると、設定値のリストが表示されます。
設定値：-9、-14、-16、-18、-20 dBFS（初期値）、Ref.Level

⑬ Network Settings

- 設定したIPアドレスを表示します。
- Editボタンをタップすると、Network Settings画面を表示します。（→ 22ページ「Network Settings画面」）

⑭ GPIO

Editボタンをタップすると、GPIO Settings画面を表示します。（→ 24ページ「GPIO Settings画面」）

⑮ Factory Reset

Resetボタンをタップすると、Factory Reset画面を表示します。（→ 26ページ「Factory Reset画面」）

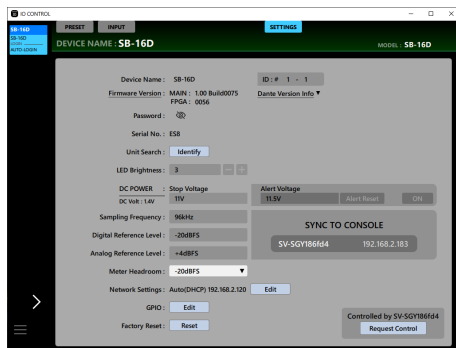
⑯ 制御権表示部

TASCAM IO CONTROLが制御権を持っている場合は「Controlled by this application」、別の機器が持っている場合は「Controlled by [デバイス名]」を、どの機器も持っていない場合は「Open Control」と表示します。

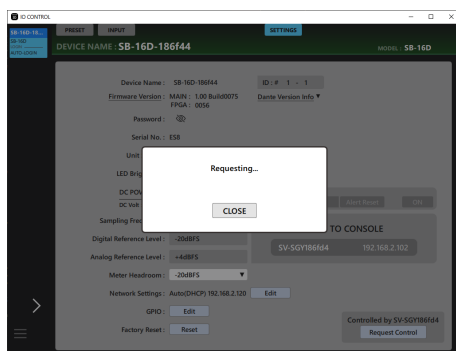
制御権の取得方法 (SETTINGS画面)

(A) 制御権の要求

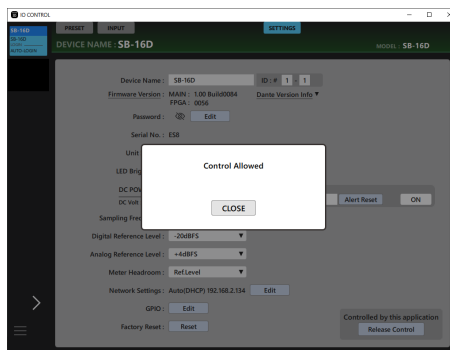
表示しているSB-16Dの制御権を他のSonicviewが持っている場合は、下図のように各種ボタンがグレイアウト表示になり操作できません。



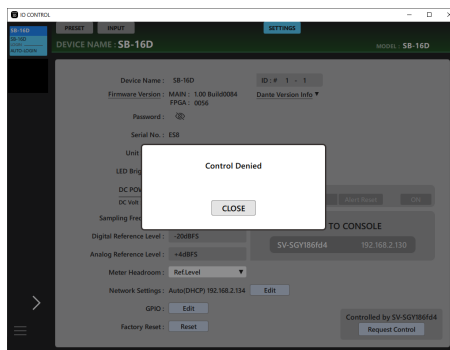
この状態では制御権表示部 (16) に制御権を持っているデバイスのDante Device名とRequest Controlボタンが表示されます。Request Controlボタンをタップすることで、制御権を持っているSonicviewに制御権要求を行います。返事がくるまで以下の画面が表示され続けます。この画面は閉じることができませんが、閉じても要求は中止されません。



- 要求を受けたSonicviewが許可した場合
「Control Allowed」に表示が変わり、CLOSEボタンをタップすることで各種操作ができるようになります。



- 要求を受けたSonicviewが拒否した場合
「Control Denied」に表示が変わり、CLOSEボタンをタップしても各種操作はできません。



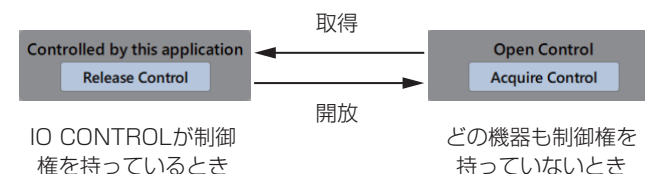
なお、表示が「Control Allowed」または「Control Denied」に切り替わってから3秒後、これらのメッセージは自動で閉じます。

(B) 制御権の取得

表示しているSB-16Dの制御権をどの機器も持っていない場合は、どの端末からも操作できる状態です。この状態では「Open Control」と表示され、Acquire Controlボタンをタップすることで制御権を取得します。取得できた場合、「Control Acquired」とメッセージが表示されます。これにより、ほかのデバイスからの不要な操作を防止することができます。

(C) 制御権の解放

IO CONTROLが制御権を持っている場合、ほかのデバイスから選択しているSB-16Dの操作を行うことができません。どのデバイスからも制御を可能するためには、制御権を解放する必要があります。この状態では「Controlled by this application」と表示され、Release Controlボタンをタップすることで制御権を開放します。これにより、ほかのどのデバイスからでも操作をすることができます。

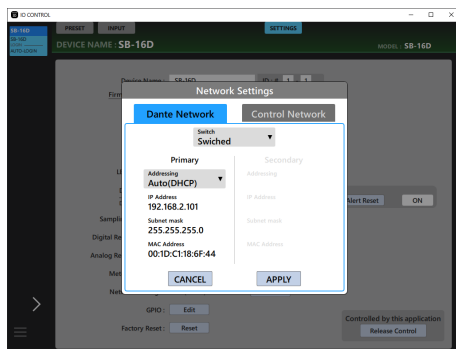


TASCAM IO CONTROL

Network Settings画面

この画面では、SB-16DのDanteネットワークおよびSB-16D制御用のDanteネットワークの設定や状態表示を行います。

Dante Networkタブ画面

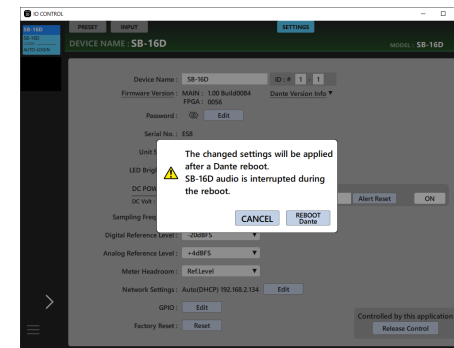


SB-16DのDanteネットワークの設定状態を表示します。Redundant（二重化）モードのときは、左側にPRIMARY端子、右側にSECONDARY端子の設定を表示します。Switched（ダイジーチェーン）モードのときは、左側だけが有効になります。

項目名	内容
Switch	選択中の接続モードを表示します。この部分をタップすると、Redundant（二重化）モードとSwitched（ダイジーチェーン）モードを選択するリストを表示します。（初期値：Redundant）
Addressing	IPアドレス設定モード名を表示します。この部分をタップすると、「AUTO（DHCP）」と「STATIC」を選択するリストを表示します。（初期値：AUTO（DHCP））
IP Address	Addressing項目の設定が「AUTO」の場合は割り振られたIPアドレス、「STATIC」の場合はユーザーが設定したIPアドレスを表示します。Addressing項目の設定が「STATIC」のときにこの部分をタップすると、カーソルが点滅して編集できるようになります。
Subnet mask	Addressing項目の設定が「AUTO」の場合は割り振られたサブネットマスク、「STATIC」の場合はユーザーが設定したサブネットマスクを表示します。Addressing項目の設定が「STATIC」のときにこの部分をタップすると、カーソルが点滅して編集できるようになります。
MAC Address	Primary / Secondaryの各Dante端子のMACアドレスを表示します。

SB-16DのDanteネットワークの設定を確認するには、SB-16DのDanteモジュールを再起動する必要があります。SB-16DのDanteネットワークの設定が変更された場合のみ、APPLYボタンがハイライト表示になります。

ハイライト表示中のAPPLYボタンをタップすると、確認メッセージが表示されます。



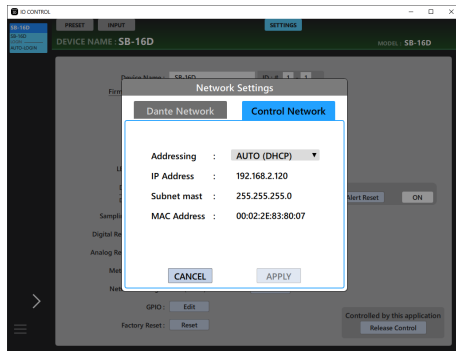
CANCELボタンをタップすると再起動は実行されず、設定はそのままですが動作に反映されません。REBOOT Danteボタンをタップすると変更を確定し、SB-16DのDanteモジュールを再起動します。再起動完了後、設定が動作に反映されます。

注意

SB-16DのDanteモジュールの再起動中は、SB-16DのDante入出力音が途切れますのでご注意ください。

TASCAM IO CONTROL

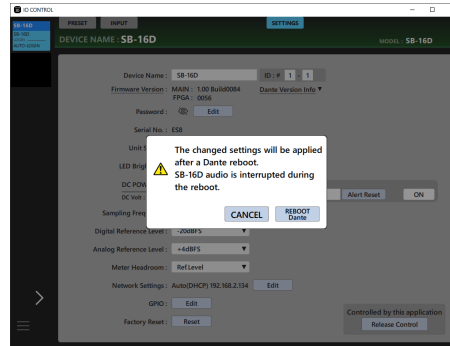
Control Networkタブ画面



SB-16D制御用のDanteネットワークの設定状態を表示します。

項目名	内容
Addressing	IPアドレス設定モード名を表示します。 この部分をタップすると、「AUTO (DHCP)」と「STATIC」を選択するリストを表示します。 (初期値：AUTO (DHCP))
IP Address	Addressing項目の設定が「AUTO」の場合は割り振られたIPアドレス、「STATIC」の場合はユーザーが設定したIPアドレスを表示します。 Addressing項目の設定が「STATIC」のときにこの部分をタップすると、カーソルが点滅して編集できるようになります。
Subnet mask	Addressing項目の設定が「AUTO」の場合は割り振られたサブネットマスク、「STATIC」の場合はユーザーが設定したサブネットマスクを表示します。 Addressing項目の設定が「STATIC」のときにこの部分をタップすると、カーソルが点滅して編集できるようになります。
MAC Address	SB-16D制御用のMACアドレスを表示します。

SB-16D制御用のDanteネットワークの設定が変更された場合のみ、APPLYボタンがハイライト表示になります。
設定を確定した場合は、SB-16DのDanteネットワーク接続がいったん切れます。そのため、ハイライト表示中のAPPLYボタンをタップすると確認メッセージが表示されます。



CANCELボタンをタップすると変更を破棄して元に戻します。
APPLYボタンをタップすると変更を確定します。

TASCAM IO CONTROL

GPIO Settings画面

SB-16DのGPIOポートには、以下の機能があります。

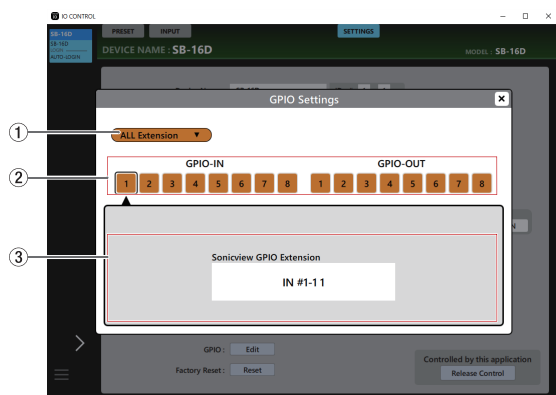
GPIO-IN

- SB-16Dの入出力信号のMUTE制御（Localモードの機能）
- マウントしているSonicviewの拡張GPIO-INポート動作（Extensionモードの機能）

GPIO-OUT

- SB-16Dの入出力信号のMUTE状態のタリー出力（Localモードの機能）
- マウントしているSonicviewの拡張GPIO-OUTポート動作（Extensionモードの機能）

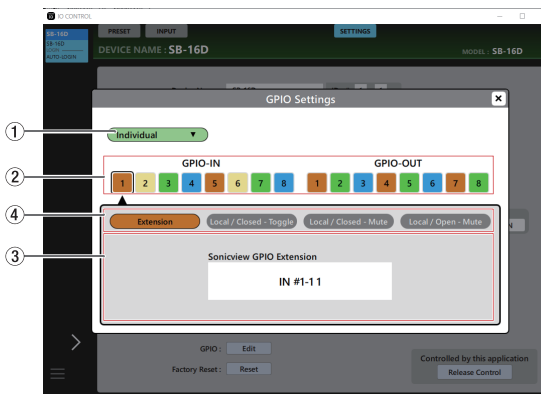
この画面では、これらの機能を使うための設定を行います。



[ALL Extensionモード]



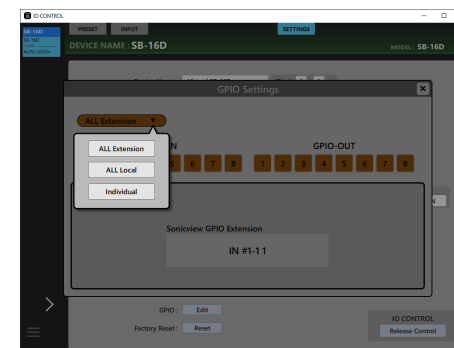
[ALL Localモード]



[Individualモード]

① GPIOポート全体の動作モード表示部

- 現在のGPIOポート全体の動作モード名を表示します。
- この部分をタップすると、SB-16DのGPIOポート全体の動作モードを変更するウィンドウを表示します。



表示	内容
ALL Extension	すべてのGPIOポートを、SB-16DをマウントしたSonicviewのGPIO拡張端子として使用するALL Extensionモードに設定します。
ALL Local	すべてのGPIOポートを、下記を行う端子として使用するALL Localモードに設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ● GPIO-IN：SB-16D入出力信号のMUTE制御 ● GPIO-OUT：SB-16D入出力信号のMUTE状態のタリー出力
Individual	各GPIOポートの動作モードをポートごとに設定するモードにします。

選択肢をタップして、SB-16DのGPIOポート全体の動作モードを切り換えます。

② 端子番号ボタン

- この部分をタップすると、タップした端子が選択状態になり、Sonicview GPIO Extension表示部 (③) /ポートごとの動作モード・アクションモード切り換えボタン (④) /入力信号／出力信号の選択状態表示部 (⑤) の表示内容が選択した端子の設定状態に切り換わります。
- GPIOポート全体の動作モードが「ALL Local」および「Individual」のときに端子番号ボタンをタップすると、選択した端子番号ボタンに黒い枠が表示されます。

③ Sonicview GPIO Extension表示部

選択したGPIOポートの動作モードが以下の場合に表示します。

- GPIOポート全体の動作モード表示部 (①) が「ALL Extension」のとき
- GPIOポート全体の動作モード表示部 (①) が「Individual」で動作モード・アクションモード切り換えボタン(⑤)が「Extension」のとき

選択中のGPIOポートを、対象のSB-16DをマウントしているSonicviewのGPIO拡張端子として使用します。

対象のSB-16DをマウントしているSonicviewのUSER DEFINED CONTROLS画面のGPIO-INタブ画面またはGPIO-OUTタブ画面で設定してください。

④ ポートごとの動作モード・アクションモード切り換えボタン

- 選択したGPIOポートの動作モードが以下の場合に表示します。
 - GPIOポート全体の動作モード表示部 (①) が「ALL Local」のとき
 - GPIOポート全体の動作モード (①) が「Individual」のとき
- 選択中のGPIOポートの動作モードとアクションモード名を表示します。
- このボタンをタップして、ポートごとの動作モードとアクションモードの設定を切り換えます。

GPIO-INポートの場合

表示	内容
Extension	選択したポートを、SB-16DをマウントしたSonicviewのGPIO拡張端子として使用するExtensionモードに設定します。GPIOポート全体の動作モード (①) が「Individual」のときのみ選択できます。

表示	内容
Local / Closed-Toggle	選択したINポートが短絡状態 (Closed) になると、入力信号／出力信号の選択状態表示部 (⑤) で選択したSB-16Dの入出力信号のMUTEのオン／オフを切り換えるモードです。
Local / Closed-Mute	選択したINポートが短絡状態 (Closed) になると、入力信号／出力信号の選択状態表示部 (⑤) で選択したSB-16Dの入出力信号のMUTEを「オン」に切り換えるモードです。
Local / Open-Mute	選択したINポートが開放状態 (Open) になると、入力信号／出力信号の選択状態表示部 (⑤) で選択したSB-16Dの入出力信号のMUTEを「オン」に切り換えるモードです。

GPIO-OUTポートの場合

表示	内容
Extension	選択したポートを、SB-16DをマウントしたSonicviewのGPIO拡張端子として使用するExtensionモードに設定します。GPIOポート全体の動作モード (①) が「Individual」のときのみ選択できます。
Local / Mute-Closed	入力信号／出力信号の選択状態表示部 (⑤) で選択したSB-16Dの入出力信号のMUTEが「オン」になると、選択したOUTポートを短絡状態 (Closed) にするモードです。
Local / Mute-Open	入力信号／出力信号の選択状態表示部 (⑤) で選択したSB-16Dの入出力信号のMUTEが「オン」になると、選択したOUTポートを開放状態 (Open) にするモードです。

⑤ 入力信号／出力信号の選択状態表示部

選択したGPIOポートの動作モードが以下の場合に表示します。

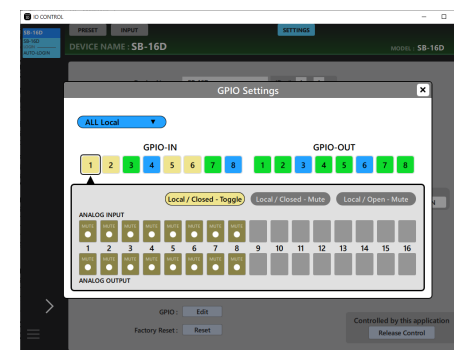
- GPIOポート全体の動作モード表示部 (①) が「ALL Local」のとき
- GPIOポート全体の動作モード (①) が「Individual」で

が「Local」のとき

GPIO-IN端子を選択している場合は、選択端子によるMUTE制御対象となるSB-16Dの入出力信号を選択します。

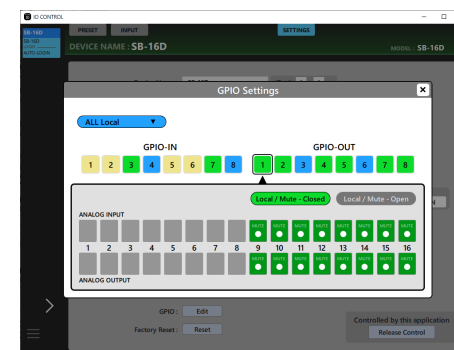
GPIO-IN端子によるMUTE制御対象は、最大16個まで選択可能です。

選択可能な個数を超えると、チェック欄がグレースアウト表示になり、選択できなくなります。



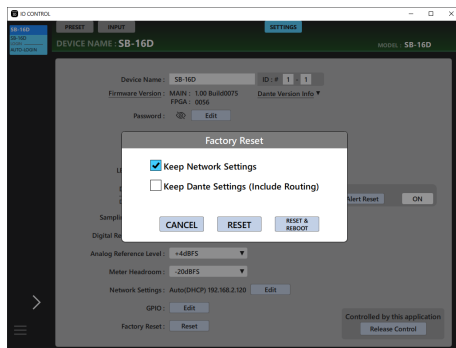
GPIO-OUT端子を選択している場合は、選択端子からMUTE状態をタリール出力したいSB-16Dの入出力信号を選択します。

GPIO-OUT端子によるMUTE制御対象は、最大16個まで選択可能です。選択可能な個数を超えると、チェック欄がグレースアウト表示になり、選択できなくなります。



Factory Reset画面

1. Resetボタンをタップして、工場出荷時の設定に戻す操作をするウィンドウを表示します。



項目名	内容
Keep Network Settings	チェックマーク (✓) が付いていると、SB-16DのDanteネットワークの設定を維持します。チェックマーク (✓) を外すと、SB-16DのDanteネットワークの設定を工場出荷時の設定に戻します。 (初期状態：チェックマーク (✓) あり)
Keep Dante Settings (Include Routing)	チェックマーク (✓) が付いていると、SB-16DのDanteネットワークの設定を維持します。チェックマーク (✓) を外すと、SB-16DのDante設定を工場出荷時の設定に戻します。 (初期状態：チェックマーク (✓) なし)

2. 設定を維持したい項目は、チェックマーク (✓) を付けます。設定を工場出荷時の設定に戻したい場合は、チェックマーク (✓) を外します。

メモ

両方にチェックマーク (✓) を付けた場合は、DanteネットワークとDante以外の設定だけを工場出荷時の設定に戻します。

3. RESETボタンもしくはRESET&REBOOTボタンをタップすると、以下の注意喚起のメッセージがウィンドウ内に表示されます。

- Keep Network Settingsのチェックマーク (✓) がない場合のメッセージ：

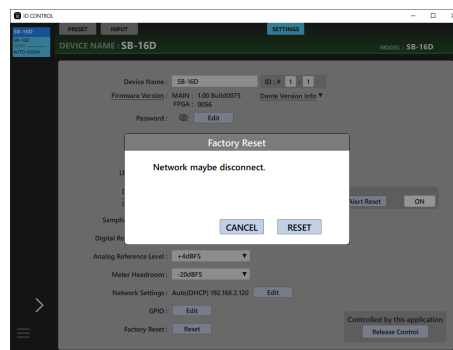
Network may be disconnected.

- Keep Dante Settings (Include Routing) のチェックマーク (✓) がない場合のメッセージ：

Audio will be interrupted.
Dante routing will be cleared.

- RESET & REBOOTボタンをタップした場合のメッセージ：

Audio will be interrupted.



[Keep Network Settingsのチェックマーク (✓) がない場合のメッセージ表示]

4. 注意喚起メッセージのRESETボタンをタップすると、以下の項目を工場出荷時の設定に戻しウィンドウを閉じます。

- チェックマーク (✓) を付けなかった設定
- DanteネットワークとDante以外の設定

注意

RESET&REBOOTボタンをタップした場合は、工場出荷時の設定に戻したあと、再起動を行います。再起動が完了するまでDanteネットワークから切断されます。また、Danteモジュールの再起動中はSB-16Dの入出力音が途切れますのでご注意ください。

CANCELボタンをタップすると、設定を変更せずにウィンドウを閉じます。

ティアック株式会社 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

● 電話 **042-356-9137** 携帯電話・PHS・IP電話から

● ナビダイヤル  **0570-000-809** 一般電話から

● FAX **042-356-9185**

受付時間は、10:00～12:00 / 13:00～17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

● 電話 **04-2901-1033** 携帯電話・PHS・IP電話から

● ナビダイヤル  **0570-000-501** 一般電話から

● FAX **04-2901-1036**

受付時間は、9:30～12:00 / 13:00～17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。